

令和6年度 事業報告

社会福祉法人しらゆり会

設立認可 : 平成17年2月25日

所在地 : 豊中市中桜塚2丁目9番24号

代表者 : 理事長 武内慎吾

法 人 概 要

【法人の沿革】

平成 17 年 2 月	「社会福祉法人しらゆり会」創設	理事長	吉田純彦
平成 17 年 4 月	「さくらづか保育園」開園（定員 70 名）	園長	豊島朱美
平成 19 年 4 月	「のばたけ保育園」開園（定員 140 名）	園長	吉田純彦
	「さくらづか保育園」施設長変更	園長	土井文子
平成 23 年 4 月	「さくらづか保育園」定員 90 名に変更		
	「のばたけ保育園」定員 160 名に変更		
平成 25 年 4 月	「さくらづか保育園」施設長変更	園長	村上美香
平成 27 年 9 月	「のばたけマミー保育園」開園（定員 20 名）	園長	奥瀬佳代子
平成 29 年 6 月	「社会福祉法人しらゆり会」代表者変更	理事長	浅尾利機
平成 30 年 4 月	「さくらづか保育園」定員 120 名に変更		
平成 30 年 7 月	「社会福祉法人しらゆり会」代表者変更	理事長	武内慎吾
令和 3 年 4 月	「さくらづか保育園」「のばたけ保育園」を幼保連携型認定こども園へ認可変更		
令和 5 年 4 月	「のばたけマミー保育園」施設長変更	園長	長橋佳子

【保育の方針】

保育理念：「こどもはみんな宝物」

「こども達の最善の利益の尊重」

「こども達の育ちを支え、保護者の子育てを支える」

保育目標：「心身ともに健やかで、仲間を大切にする生き生きとしたこどもの育成」

- しなやかな身体と心を育む
- 仲間の中で自己主張でき、自分のことだけでなく相手のことも考え、認め合い、豊かな関わりを持つこどもを育てる
- 自分は大切な存在であると、自信をもって行動するこどもを育てる
- 自分で考え行動し、達成感・満足感を持てるこどもを育てる

職員心得

- 私たちはこども第一で仕事をします
- 保育士は、こどもの模範である事を常に自覚し、常識と良識に基づいて行動します
- 職務上知りえた個人情報の秘密を守ります
- 保育士として、常にその専門性の向上に努めます
- 保護者との信頼関係の構築に努めます
- 常に自己の責任の下に行動し、報告・連絡・相談を怠りません
- 他の職員との間で、お互いに良好な関係を保つ努力をします

【施設の概要】

認定こども園 さくらづか保育園 園長：村上 美香

所在地：〒561-0881 豊中市中桜塚2丁目9番24号

連絡先：TEL/06-6843-5868 FAX/06-6858-8088

E-mail/sakura5868@sakuraduka.ed.jp

幼保連携型認定こども園 のばたけ保育園 園長：吉田 純彦

所在地：〒560-0053 豊中市向丘3丁目2番1号

連絡先：TEL/06-6848-4560 FAX/06-6848-4426

E-mail/nobatake1@road.ocn.ne.jp

のばたけマミー保育園 園長：長橋 佳子

所在地：〒560-0002 豊中市緑丘4丁目35番19号

連絡先：TEL/06-6853-3533 FAX/06-6151-5455

E-mail/nobatake.mami@clock.ocn.ne.jp



法 人 報 告

法人全体として見てみれば特に大きな問題はないと言えるが、「のばたけママ一保育園」について0歳児の受け入れが定員の6名に対して充足できない状態が続いており、そこが大きな原因として赤字決算となった。自園での3歳以上の受け入れが難しいので、今後のはたけ保育園への引き上げを確定できる様に具体策を講じていく必要がある。

経営面としては法人全体として、経常増減差額率 3.8%(6.3%), 流動比率 310.0%(270.2%), 純資産比率 77.8%(83.2%), 固定長期適合率 82.6%(90.0%), 人件費比率 73.8%(71.0%)であり、特に問題のない経営状態であったといえる。

※ () 内は令和5年度大阪府保育事業平均値

※ 社会福祉法人の経営指標は巻末参照

地域貢献に関しては、園庭開放・一時保育事業・各サークル等の園内活動や自治会等の活動について、ほぼコロナ禍前の活動を行うことができた。

1. 理事会・評議員会等開催状況

日 付	会 議 名	主な決議内容
令和 6 年 6 月 6 日	第 1 回 理事会	令和 5 年度事業報告・決算、令和 6 年度補正予算、評議員選任解任委員の選任、就業規則・運営規程の改定、契約関係
令和 6 年 6 月 25 日	第 1 回 定時評議員会	令和 5 年度決算、令和 6 年度補正予算
令和 7 年 3 月 10 日	第 2 回 理事会	令和 6 年度補正予算、令和 7 年度事業計画・予算、就業規則・運営規程の改定
令和 7 年 3 月 25 日	第 2 回 評議員会	令和 6 年度補正予算、令和 7 年度事業計画・予算

2. 協議会開催状況

日 付	会 議 名	主 な 内 容
令和 6 年 5 月 28 日	第 1 回 運営会議	理事会前打合せ
令和 6 年 12 月 16 日	第 1 回 施設長会議	令和 7 年度給与体系について、就業規則について、次期役員体制について
令和 7 年 2 月 4 日	次期役員体制の相談・打合せ	
令和 7 年 2 月 19 日		
令和 7 年 2 月 25 日	第 2 回 運営会議	理事会前打合せ
令和 7 年 2 月 25 日	阪神公証センターにおいて 「さくらづか保育園」事業用定期借地権設定契約公正証書の正式契約（30 年間の契約）	

各施設報告

【認定こども園 さくらづか保育園】

月別利用児童数

年齢区分 (クラス年齢)		4月		5月		6月		7月		8月		9月				
		市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市			
3号	0歳児	14		15		15		15		15		15				
	1歳児	24		24		24		24		24		24				
	2歳児	24		24		24		24		24		24				
小計(0～2歳児)		62	0	63	0	63	0	63	0	63	0	63	0			
2号	3歳児	25		25		25		24	1	24		24				
	4歳児	27		27		27		27		27		27				
	5歳児	26		26		26		25	1	25		25				
1号	満3歳児															
	3歳児	2		2		2		2		2	1	2	1			
	4歳児	1		1		1		1		1		1	1			
	5歳児	2		2		2		2		2	1	2	1			
小計(3～5歳児)		83	0	83	0	83	0	81	2	81	2	81	2			
合計		145	0	146	0	146	0	144	2	144	2	144	2			

年齢区分 (クラス年齢)		10月		11月		12月		1月		2月		3月		市内 計	他市 計	市内・他市 合計	
		市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市				
3号	0歳児	15		15		15		15		15		15		179	0	179	
	1歳児	24		24		24		24		24		24		288	0	288	
	2歳児	24		24		24		24		24		24		288	0	288	
小計(0～2歳児)		63	0	63	0	63	0	63	0	63	0	63	0	755	0	755	
2号	3歳児	24		24		24		24		24		24		291	1	292	
	4歳児	27		27		27		27		27		27		324	0	324	
	5歳児	26		25		25		25		25		25		304	1	305	1,676
1号	満3歳児													0	0	0	1号合計
	3歳児	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	24	8	32	75
	4歳児	1		1		1		1		1		1		12	0	12	全児月平均 (市内)
	5歳児	1	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	23	8	31	144
小計(3～5歳児)		81	2	81	2	81	2	81	2	81	2	81	2	978	18	996	3歳児以上 の月平均 (市内)
合計		144	2	144	2	144	2	144	2	144	2	144	2	1,733	18	1,751	82

※ 上記のうち保育短時間利用者 延べ82名(4.7%)

職員数：

種別	園長	主幹 保育教諭	副主幹 保育教諭	保育 教諭	助保育 教諭	看護師	栄養士	調理員	用務員	事務員
常勤	1名	2名	1名	24名	—	—	1名	2名	—	—
非常勤	—	—	—	18名	3名	2名	—	2名	1名	2名
合計	1名	2名	1名	42名	3名	2名	1名	5名	1名	2名

学校医：

種別	内科医	歯科医	眼科医	耳鼻咽喉科医	薬剤師	合計
嘱託	1名	1名	1名	1名	1名	5名

第三者委員：岡本清治、松 公造

職員定着状況

区分	採用者数	退職者数	備考
常勤職員 (正規職員)	1 名	3 名	令和 7 年度 補充 4 名
非常勤職員 (派遣職員除く)	5 名	3 名	令和 7 年度 補充 2 名

本年度重点的に取り組んだ事項

- 子ども・大人の気持ちの奥にあるニーズについて 1 年を通して研修を行い、気持ちを大切に保育に心掛けた。
- 子ども主体な保育の活動ができるように、環境ガイドブックに沿って定期的に点検・評価・改善を行うことができた。
- 全体の研修報告から研修を通しての意見交換をグループで行うことによって、より保育に落とし込めるようになった。
- 子の看護休暇を今年度より有給対象とし、職員が安心して働ける環境づくりに努めた。

取り組んだ事項の具体的な項目と取り組み結果

項目	取組方法
保育内容	● 以前から気持ちカードは保育に取り入れてきたが、気持ちの奥にあるニーズに気づく研修を外部の講師を招いて行った結果、保育の中でニーズカードを使って実践し、気持ちやニーズが可視化になることで、子ども・保護者・職員のお互いのニーズが理解しやすくなった。 ● 豊中市の環境ガイドブックに沿って P D C A マニュアルを作成し、子どもの成長に合わせて環境ガイドラインで定期的に見直すことで、子どもが主体的に遊びや生活ができる習慣が継続できた。 (豊中市の環境ガイドラインの公開保育・実践報告を行った) ● 多くの職員がキャリアアップの研修を受講した。研修の報告会を全体からグループに分けて報告することで、意見交換ができ保育の実践に活かせる場面が増えてきた。

職員処遇	● ニーズ研修の講師が全職員のニーズについてアンケート・個人面談を行った。個人の思いを丁寧に聞き取ってもらえたことで、職務に対する不安が改善された。 ● 子の看護休暇の取得率は 67.8%で、子育てしながら安心して働く環境を整えてきた。 ● 今年度の職員の有給休暇取得率は 105.3%であった。また、計画的有休を取り入れることで、職員のリフレッシュ休暇の充実を図ることができた。
地域貢献	● 北桜塚自治会のお餅つきに参加。子ども用の杵と臼の貸し出しを行い、お手伝いで参加もさせていただいた。 ● 敬老の集いで年長児が和太鼓を披露させていただいた。 ● まほろば会（老人会）に幼児が参加し、歌をうたったり手作り楽器で音あそびを地域の方と一緒にいった。 ● 卒園児で登校の行き渋りの子や発達凸凹で学童保育の集団が苦手な子の息抜き場として、1 時間程度園を開放したり、保護者の相談を聞く等、卒園児の親子の居場所づくりに努めた。 ● スマイルサポーターが 3 名常駐しているので、地域の方の相談窓口として努めた。 ● 子育てサークルの内容を充実させ、保護者の方に丁寧に声掛けをすることで、リピートで参加される方が多く新規入所にも繋がった。 ● 赤ちゃんの駅（園庭解放・オムツ交換、授乳室の提供） ● AED の貸し出し掲示
苦情相談窓口	● 今年度の苦情解決第三者委員への苦情報告は 0 件でした。

その他特記事項（主な施設整備関係）

- スチームコンベクションオープン設置（故障入替）
- 園庭遮光ネット増設工事（夏季温度対策）
- 木製仕切り家具収納棚設置（0 歳児室）※大阪府補助金事業

【のぼたけ保育園】

月別利用児童数

年齢区分 (クラス年齢)		4月		5月		6月		7月		8月		9月	
		市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市
3号	0歳児	15	0	15	0	15	0	15	0	15	0	15	0
	1歳児	25	0	25	0	25	0	25	0	25	0	25	0
	2歳児	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0
小計(0～2歳児)		70	0	70	0	70	0	70	0	70	0	70	0
2号	3歳児	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0
	4歳児	47	0	47	0	47	0	47	0	47	0	47	0
	5歳児	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0
1号	満3歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3歳児	3	0	3	0	3	0	3	0	3	0	3	0
	4歳児	4	0	4	0	4	0	4	0	4	0	4	0
	5歳児	4	0	4	0	4	0	4	0	4	0	4	0
小計(3～5歳児)		118	0	118	0	118	0	118	0	118	0	118	0
合計		188	0	188	0	188	0	188	0	188	0	188	0

年齢区分 (クラス年齢)		10月		11月		12月		1月		2月		3月		市内 計	他市 計	市内・他市 合計	
		市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市				
3号	0歳児	15		15		15		15		15		15		180	0	180	
	1歳児	25		25		25		25		25		25		300	0	300	
	2歳児	30		30		30		30		30		30		360	0	360	
小計(0～2歳児)		70	0	70	0	70	0	70	0	70	0	70	0	840	0	840	
2号	3歳児	30		30		30		30		30		30		360	0	360	
	4歳児	47		47		47		47		46		46		562	0	562	2・3号合計
	5歳児	30		30		30		30		30		30		360	0	360	2,122
1号	満3歳児	0		0		0		0		0		0		0	0	0	1号合計
	3歳児	3		3		3		3		3		3		36	0	36	132
	4歳児	4		4		4		4		4		4		48	0	48	全児月平均 (市内)
	5歳児	4		4		4		4		4		4		48	0	48	188
小計(3～5歳児)		118	0	118	0	118	0	118	0	117	0	117	0	1,414	0	1,414	3歳児以上の 月平均 (市内)
合計		188	0	188	0	188	0	188	0	187	0	187	0	2,254	0	2,254	118

※ 上記のうち保育短時間利用者 延べ187名(8.3%)

職員数：

種別	園長	副園長	主幹 保育教諭	副主幹 保育教諭	保育 教諭	看護師	栄養士	調理員	用務員	事務員
常勤	1名	1名	2名	5名	29名	1名	1名	3名	—	1名
非常勤	—	—	—	—	11名	—	—	2名	2名	1名
合計	1名	1名	2名	5名	40名	1名	1名	6名	2名	2名

学校医：

種別	内科医	歯科医	眼科医	耳鼻咽喉科医	薬剤師	合計
嘱託	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名	5 名

第三者委員：安芸 雅美、平川 郁子

職員定着状況

区分	採用者数	退職者数	備考
常勤職員 (正規職員)	4 名	4 名	令和 7 年度 補充 2 名
非常勤職員 (派遣職員除く)	5 名	2 名	令和 7 年度 補充 1 名

本年度重点的に取り組んだ事項

- 子どもの遊びの環境構成を 2・3 か月に一度は見直し、月 1 回ある乳幼児会で意見を出し合うなどし子どもが自分たちで選んで遊べる環境づくりに努めた。発表会・運動会に焦点を合わせるのではなく、1 年を通してできることや難しいけど頑張ればできそうなことを考え目標にし、計画的に取り組んだ。
- クラスミーティング・乳児会・幼児会・園内研修などで園が大切にし、強化していきたい保育内容や取り組みを打ち出し、職員同士が話し合い理解を深められるように努めた。経験年数が短い保育教諭がすぐに取り入れられるような、遊びに活かせる内容や子どもへの援助の仕方など具体的な研修・話し合いも行い、一人ひとりの保育力を高められるようにした。
- 支援の子どもが 10 人ほどいる中で、インクルーシブ保育を推進し毎月インクルーシブ会議設け支援の保育教諭が集まり支援の方法や取り組みなどについて研修や報告、相談などをして保育に活かせるようにした。

取り組んだ事項の具体的な項目と取り組み結果

項目	取組結果
保育内容	● 定期的に保育室の環境の見直しを行い、子どもたちの興味を引き出せるような玩具や遊び方の設定を行った。コーナーを工夫して作ることで、落ち着いて遊んだり、遊び込む姿が見られた。 ● 毎月クラスミーティングで「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を照らし合わせて立てた月カリの評価反省をし、ねらいや目標が今の子どもたちに合っているかの話し合いを重ねたことで運動会・発表会も子どもたちの成長に合わせたものとなった。

	● 去年よりリトミックの園内研修が増えたことで、各クラス保育内容にリトミックをスムーズに取り入れることができています。引き続きリトミックを教えられる職員が園内研修を定期的に行い定着させていきたい。 ● 菜園チームを作り、畑を全職員でしっかり耕し肥料や管理を計画的に行ったことで今回収穫がよく食育にも活かすことができたが、プランター栽培はうまくいかなかったので反省を踏まえて次年度に活かしたい。 ● 記録的な暑さで園庭が使用できないことや支援児が多数いることを踏まえて、行事の内容や練習の進め方などを副主幹や乳幼児会で何度も話し合い見直ししながら進めたことで無理のない内容で行うことができた。
職員処遇	● 保育業務の見直しを図ったり、会議やミーティングの時間を短くするなど、職員の休憩時間を確保したり勤務時間内での職員の事務時間の確保に努めたことでより働きやすい体制を整えている。 ● 園内研修が増え、職員間で学び合う姿や保育の質の向上への意識が高まっている。また他クラスへの公開保育などを次年度も増やしていく予定。 ● パソコンを増やし共有 BOX を作ったことで職員間の情報共有がよりスムーズになり、他のクラスのカリやおたより・行事のレジメなど過去の分も含め見やすくなり仕事の効率化につながっている。 ● 今年度の職員の有給休暇取得率は 93.8%であった。
地域貢献	● 職場体験や子育て支援員の実習等を積極的に受け入れることで、園、保育教諭一人ひとりの保育を見直す機会となっている。 ● 毎月の行事やこっこびよびよサークルなど園での特色を HP を使って定期的に発信し保護者や地域の方へ伝えるようにしたことでこっこびよびよサークルや園庭開放にくる地域の方も増えてきている。今年度より豊中市のほっぺの事業に参加することになり、地域に開かれた園を目指していきたい。 ● スマイルサポーター 3 名 ● AED 設置
苦情相談窓口	● 今年度の苦情解決第三者委員への苦情報告は 0 件でした。

特記事項（施設整備関係）

- 園庭砂場テント交換
- 給食室ガステーブル交換
- スロープ及び屋外階段の改修工事

【のばたけマミー保育園】

月別利用児童数

年齢区分 (クラス年齢)		4月		5月		6月		7月		8月		9月					
		市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市				
3号	0歳児	1	0	2	0	3	0	3	0	3	0	3	0				
	1歳児	9	0	10	0	10	0	10	0	10	0	10	0				
	2歳児	9	0	9	0	9	0	9	0	9	0	9	0				
小計(0～2歳児)		19	0	21	0	22	0	22	0	22	0	22	0				
2号	3歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	4歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	5歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
1号	満3歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	3歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	4歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	5歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
小計(3～5歳児)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
合計		19	0	21	0	22	0	22	0	22	0	22	0				

年齢区分 (クラス年齢)		10月		11月		12月		1月		2月		3月		市内 計	他市 計	市内・ 他市	
		市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市				
3号	0歳児	4	0	4	0	4	0	4	0	4	0	4	0	39	0	39	
	1歳児	9	0	9	0	9	0	9	0	9	0	9	0	113	0	113	
	2歳児	9	0	9	0	9	0	9	0	9	0	9	0	108	0	108	
小計(0～2歳児)		22	0	22	0	22	0	22	0	22	0	22	0	260	0	260	
2号	3歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2・3号合計
	4歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	5歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	260
1号	満3歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1号合計
	3歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	全児月平均 (市内)
	5歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22
小計(3～5歳児)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3歳児以上の月平均 (市内)
合計		22	0	22	0	22	0	22	0	22	0	22	0	260	0	260	0

※ 上記のうち保育短時間利用者 延べ0名

職員数：

種別	園長	主任保育士	保育士	看護師	調理員	
常勤	1名	1名	8名	1名	2名	—
非常勤	—	—	3名	—	—	
合計	1名	1名	11名	1名	2名	

嘱託医：

第三者委員：安芸 雅美、平川 郁子

種別	内科医	歯科医	眼科医	耳鼻咽喉科医	薬剤師	合計
嘱託	1名	1名	—	—	—	2名

職員定着状況

区分	採用者数	退職者数	備考
常勤職員 (正規職員)	5 名	4 名	令和 7 年度 補充 1 名
非常勤職員 (派遣職員除く)	1 名	0 名	令和 7 年度 補充 0 名

本年度重点的に取り組んだ事項

- 子どもの人権の尊重をあらためて職員全員で学びなおす機会を持ち、子どもに愛着を持って丁寧な保育をすることを職員一人一人が日々心がけるようにした。
- 興味や意欲をもって行動できる子どもを育てるために、保育環境の充実を図った。
- 園全体で危機管理能力を高められるように、見直しや勉強会をもつようにした。
- 保護者や地域の方々に親近感が得やすくなるように **Instagram** を活用して定期的に投稿を行い、園の雰囲気や行事を発信することで、園の魅力を伝えるようにした。

取り組んだ事項の具体的な項目と取り組み結果

項目	取組結果
保育内容	● 子どもの興味に応じて様々な活動を計画し、日々の保育に取り入れることが出来た。また、職員同士で子どもの姿を共有して対話を深め、一人一人の子どもに対する共通の理解が持てるよう心がけた。 ● 園外の研修には 2 人以上で参加することを意識し、研修で得たものを他の職員に伝えることで学んだことを保育に活かせるようにした。 ● 子ども達が野菜を育て収穫した食材を献立に取り入れることで、食への興味が広がり楽しみに食べることができた。 ● 今年度は消防署からの避難訓練指導を受けたことで、職員の防災意識も高まった。安全面において見直しを図り、職員間の意識の共有化を高めた。ローリングストックを活かして防災食を実際に食べて、防災食を体験した。

職員処遇	● 職員一人一人の良さや得意を活かし、互いに協力し合って業務分担をすることで、円滑な園運営、日々の業務軽減につながっている。 ● 一年目や途中入職の職員が安心して職場に慣れることができるようにメンター制度を取り入れて助言・指導をし、悩みや不安を打ち明けやすい環境づくりに力を入れた。 ● 経年による PC の入れ替え、コピー機の導入等、職員の日々の仕事面が潤滑に行えるようにしたことで職員の事務仕事面でのストレス軽減につながっている。 ● 計画的に有給休暇を取得できるようにし、職員のリフレッシュにつながっている。今年度の職員の有給休暇の全体取得率は 102%であった。
地域貢献	● 異世代交流として、地域の高齢者施設（アクティブライフ豊中）訪問を行い、交流をもち、高齢者の方々やスタッフの方にも喜んでもらえた。 ● SNS 発信や地域活動（みんなであそぼ）の内容を見直したことで、今年度は回数を重ねるごとに参加者が増えていた。
苦情相談窓口	● 今年度の苦情解決第三者委員への苦情報告は 0 件でした。

特記事項（施設整備関係）

- コピー機の導入
- PC（4 台）の入れ替え